

# 今月の煉瓦 大阪窯業刻印@相賀隧道

製造年：大正2年（1913）～5年（1916）頃



三重県道熊野街道の煉瓦隧道群の一つ・**相賀隧道**の東口で採取。大阪窯業株式会社（大阪府堺市）の刻印がある。同社は関西地方最大の煉瓦製造業者で、鉄道省や全国の地方庁、大企業から大口受注を得て大量生産を行っていた。そのため全国各地で刻印を見ることができる。

相賀隧道は東口が曲がっていたため「キセル隧道」の異名があった。のちに線形が改められ、坑口も「ラッパ型」に拡張されている。その際に出た屑煉瓦と思われる。大正時代のものながら手成形で、実測226×109×56mmは作業局型に相当。